

# 竹取物語新聞

第 126 号 2016 年 9 月号

発行：NPO 法人森林ボランティア  
竹 取 物 語 の 会

## 恒例の竹紙（ちくし）漉き 1 日体験

当会、毎年恒例の竹紙漉き体験が 25 日（日）野外活動センターで行われた。竹 100%、のりを使わない紙??? これが竹紙（ちくし）だ！

緑に囲まれた高台に参加者 18 名（7 家族）、スタッフ 8 名で対応する。竹紙の全工程を仕込み～出来上がりまで体験と説明で理解していただいた。体験は仕込んだ繊維の洗い、煮た繊維の竹餅つき、1 番花形は漉き、漉舟の生地を平均に漉枠で漉くのだが難しく何度も納得

いくまで挑戦する。漉き上がった上に秋の草、もみじ、藍の花の押し花をデザイナー気取りで絵を描き、干竿に立て掛け自然乾燥。乾いたら竹ベラで剥がし出来上がり。自分だけの竹紙に皆さん大満足。日照り風量と程よく最良の紙漉き日和だった。

今年の生地は 2 年半物。中国最古の竹紙製法と同じです。多くの方に竹紙（ちくし）をもっと知っていただきたいと願っています。

（田上武子）

## NPO フェスタ来場者 130 名以上 竹取ブースは大盛

9 月 11 日（日）恒例の NPO フェスタが開催され指導員 10 名で対応した。出足は悪かったが時間が経つにつれ子供連れの親子で竹取のブースが混雑した。会場が狭く割り当てブースだけでは対応できず、共通のブースを使用してのクラフト指導となった。

特に子供に人気が高かったのはアンパンマン、熊のブローチで準備した材料がなくなる程であった。作った作品に「おっちゃん、これに

穴をあけて、紐を通して」とブローチやバッチの要望が多くオンリーワンの作品に満足していました。竹炭・竹酢液の販売も好調であったがそれを上回る人気であった。来場者数 130 名までカウント出来たが、それ以上は多忙の為カウント出来ず嬉しい誤算であった。材料を準備して頂きましたスタッフの皆様ありがとうございました。（岡 春司）

## 穂谷収穫祭出展準備

穂谷収穫祭出展準備及び出展作品受付中（担当：松山さんまでお申込みを）

穂谷収穫祭が 10 月 9 日（日）、雨天の場合は 10 日（祝日）に開催されます。

会員一同クラフトデー及び活動の合間に収穫祭の出店作品準備をしています。例年通り出展作品を受付しています。奮ってご参加下さい。お待ちしております。（岡 春司）

## 中宮子供いきいき広場クラフト指導

9 月 3 日（土）13 時～、中宮小学校にてクラフト作りとヒノキの丸太切り体験を指導。

輪切りした竹を使い「カエル」を作成、参加者は 14 名各々個性的な「カエル」が出来上がり

ました。丸太切りでは参加者全員が鋸を使うのが初めてで、楽しみながら自分で切ったヒノキを持ち帰りました。子供たちは新しい体験をした一日でした。（松山 重三）

## 栗の収穫

9月25日(日)笹田果樹園及び活動基地茶畑の所で栗の収穫作業を行った。市民参加の「竹紙漉き体験」と重なり、2班に分かれての活動となった。

雨栗日柿と言われますが、今年は猛暑や長雨で収穫時期が難しく苦労したが3回目にしてようやく30.3kg収穫することが出来ました。

(岡春司)

